

お知らせ

【ウクライナ危機へのロータリーの対応】

この戦争による被災者支援のために、現在までに 272 件の災害救援補助金(総額 890 万ドル)が授与されています。ロータリー財団は引き続き、この寄付をウクライナとその周辺地域での人道的救援活動に活用していきます。地区は 2022 年 12 月 31 日まで、この目的のために災害救援補助金を申請できます。

日本の地区が、ウクライナやその周辺地域と協力するプロジェクトを申請した場合、補助金は日本円で申請した地区の口座に送金されます。補助金については、支払い時の RI レートが適用されます。

補助金を現地の業者に送金する場合は、海外送金の手数料や送金時の市場レートが適用されるため、現地への送金金額が予定通りにならない場合もございます。レートの差額等に対する補助金の追加付与はございませんので、計画の際は、余裕を持った資金計画を立てていただくようお願いいたします。

補助金の 3 パーセントまでを、管理運営費に配分して銀行手数料に、補助金の 20 パーセントまでを、臨時費に配分してレートや価格変動に備えることもできます。

[ウクライナ危機へのロータリーの対応](#)

[ロータリーによる対応:ウクライナ支援](#)

※ウクライナ難民またはこの戦争の被災者支援が行われている地域のため、ロータリー災害救援基金へのご寄付は、2022年4月30日までで終了いたしました。

【ロータリーとUkraine Friendsがウクライナでの救援活動で協力】

国際ロータリーと米国を本拠とする非営利団体の [Ukraine Friends](#) は、ロシアとの戦争で被害を受けたウクライナの人びとを支援するため、リソースの提供や、インパクトの大きなプロジェクトへの資金提供で協力することで同意しました。

ジョン・ヒューコ RI 事務総長と Ukraine Friends の CEO であるブロック D. ビアマン氏が 2022 年 7 月、覚書に署名し、プロジェクトでの協力、資金提供や現物寄贈、合同での活動の優先化の可能性を模索するために協働することで同意しました。

「ロータリーは Ukraine Friends とのパートナーシップで参加者基盤の拡大ができることを嬉しく感じています」とヒューコ事務総長は話します。「ウクライナでの危機の最中にロータリーの寛大さが示されているだけでなく、同国での会員数が増え、必要不可欠な奉仕を提供するための新たな機会が生まれています」記事の続きは [こちら](#)

[My ROTARY RI レート](#)
[寄付送金明細書](#)
[寄付・認証の手引き](#)

寄付総額 世界上位3ヶ国

	2022年9月22日現在
アメリカ	\$ 11,649,055
韓国	\$ 6,864,961
日本	\$ 2,954,398

2022-23年度

目標(世界)

- ・年次基金:1億3,500万ドル
- ・ポリオプラス基金:1億5,000万ドル(ゲイツ財団からの上乗せ含む)
- ・恒久基金:1億ドル(2025年までに20億2,500万ドル)
- ・その他の現金寄付:4,500万ドル(グローバル補助金への現金拠出等)
- ・全体(上記合計):4億3,000万ドル

目標(日本)

- ・年次基金:一人当たり 150 ドル
- 年次基金寄付ゼロクラブゼロ達成
- ポール・ハリス・ソサエティの推進
- ・ポリオプラス:一人当たり 30 ドル
- ・恒久基金:冠名基金を各地区1件以上設立
- ・大口寄付:1 万ドル以上のご寄付 100 件、AKS10 名増(日本全体)
- ・ポリオプラスへ DDF の 20% を寄贈
- ・ロータリー平和センター、重点分野への DDF 寄贈
- ・世界ポリオデー(WPD)の推進
- ・補助金の活用の促進
- ・ロータリー平和フェローシップの推進

日本の状況

冠名基金数 239
AKS 会員数 57
PHS 会員数 1234

【ポーランドのロータリー会員がウクライナ難民に安全な住まいを提供】

2022年3月、ロシアがウクライナへの侵攻を開始した直後のこと、ポーランド東部の都市ルブリンから30km少々離れた町ヴォイチェフの家に、難民が続々と集まりました。

Lublin-Centrum-Maria Curie-Sklodowska ロータリークラブの会員であるヤヌス・ミラノフスキーさんと妻のカタジナ・スミギン＝ミラノフスカさんは、2021年にこの家を購入した当初、これを中毒に苦しむ10代の若者のための施設にしようと考えていました。しかし、ウクライナからの何千人もの難民が滞在場所を必要としているため、夫妻は代わりに彼らにこの家を開放しました。

ナタリア・プロクホールさんは3月上旬にポーランドに到着しました。彼女は、救援機関の支援を受けた聴覚障害者のウクライナ人17人のうちの一人で、ほかの難民たち(合計29人)と一緒にこの家に住むことになりました。記事の続きは[こちら](#)

ロータリーの運営、イベント、会員に対する新型コロナウイルス(COVID-19)の影響についての情報は[こちら](#)

【ばらばらになった土地に平和を築く】

イスラエル西ガリラヤ地域で行われた集いでのこと、約50名の学生たちがペアになり、互いの何が似ていて、何が異なるのかを考えるよう言われました。半分がユダヤ人、半分がアラブ人でしたが、明らかな差について述べた学生は誰もいませんでした。なぜかと問われた彼らは答えました。「私たちは皆同じ人間だからです」

エルサレムと西ガリラヤにある四つの学校の学生が参加したこの集いは、元ロータリー平和フェローのArik Gutler Ofirさんが企画運営した平和教育プログラムの一貫で行われました。2016年にロータリー財団グローバル補助金の支援を受けたこのプログラムは、エルサレム・ロータリークラブが挙げるさまざまな平和構築イニシアチブの一つです。

学生は互いの家に滞在し、互いの食事、音楽、文化について学びました。結果は大成功でした。補助金が終了すると、メンヒェングラートバッハ・ロータリークラブ(ドイツ)や、オーストラリア、ドイツ、アメリカの複数地区・クラブからの支援が行われ、地元教育機関がこのイニシアチブを市民カリキュラムに統合しました。記事の続きは[こちら](#)

【世界中で活躍する「世界を変える行動人」】

世界のプロジェクトをご紹介します。記事は[こちら](#)

リソース

<My ROTARY>

[Rotary.org 利用にあたってのリソース](#)
[「My ROTARY」アカウント登録方法](#)
[ブランドリソースセンター](#)

[ロータリーの日本語フェイスブック](#)

[ロータリーボイス](#)

[組織規定](#)

[管理委員会の決定](#)

[ロータリーのプライバシーの方針](#)

[EU 一般データ保護規則\(GDPR\)について](#)

<資料>

[財務報告](#)

[年次報告\(オンライン版\)](#)

[携帯用カード](#)

[ロータリー財団参照ガイド](#)

[地区ロータリー財団セミナーの手引](#) (zip)

<各種レポート>

[My ROTARY](#) にログインをすると、[「各種レポート」](#)から、役職に応じてレポートを閲覧できます。

- PHF とベネファクターレポート
- クラブ認証概要レポート(CRS)
- メジャードナー/アーチ C. クランフ・ソサエティ/遺贈友の会レポート
- PHS レポート
- 月次寄付レポート(MCR)
- 地区ファンドレイジング分析
- 補助金に関するレポート など
- 寄付者履歴レポート(本人のみ)

【クラブでSNSを始めよう】

SNS を使えばクラブの情報を簡単に発信できるとは聞いているけれど、うまく使いこなせない、目的がよくわからないと感じている方もいるでしょう。SNS 活用の目的はごくシンプルです。それは「つながりを築く」ことです。SNS を駆使してクラブの奉仕活動を紹介し、クラブの存在感をアピールすることで、地域社会とのつながりが築かれます。記事の続きは[こちら](#)

【行動計画シリーズ】

ロータリーボイスで行動計画シリーズの記事が掲載されました。ぜひご覧ください。

- [より大きなインパクトをもたらす 行動計画シリーズその 1: ツズビラさんにお聞きしました](#)
- [参加者の基盤を広げる 行動計画シリーズその 2: ハリデイさんにお聞きしました](#)
- [参加者の積極的なかわりを促す 行動計画シリーズその 3: オウオラビさんにお聞きしました](#)
- [適応力を高める 行動計画シリーズその 4: スコットさんにお聞きしました](#)

ロータリー行動計画については[こちら](#)

寄付・認証

【直前年度からのDDF繰り入れについて】

「地区で利用可能な DDF」レポートでの、直前年度からの DDF 繰り入れ額の反映が遅れており、ご迷惑をおかけしておりますこと心よりお詫び申し上げます。レポート上に反映されるまでは、大変恐れ入りますが 2021-22 年度の「地区で利用可能な DDF」レポートにある繰り越し額をご参照いただけますと幸いです。また、1,000 ドルを超える地区補助金の返金分も、DDF へ加算される予定です。皆様にはご不便、ご迷惑をおかけしており、誠に申し訳ございません。ご理解を賜りたく、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

【表彰】

ポリオのない世界を目指す奉仕賞
推薦期間：7月～10月1日

詳細、推薦手続きは、[My ROTARY「各種賞・表彰」](#)よりお願いいたします。

リソース

<資料>

- [年次基金とシェア](#)
- [寄付者の認証](#)
- [税制上の優遇措置](#)
- [オンラインでの寄付](#)
- [認証ポイント使用申請書](#)
- [ポール・ハリス・ソサエティ\(PHS\)](#)
- [PHS パンフレット](#)
- [PHS 入会フォーム](#)
- [PHS 認証状テンプレート](#)
- [PHS オンライン入会手続き\(ppt\)](#)

国際財団活動資金(WF)に関するプレゼンテーション

- [パワーポイント](#)
- [動画](#)

[END POLIO NOW](#)

[ロータリー賞](#)

<DDF の寄贈>

ポリオプラス基金に DDF (地区財団活動資金) を寄贈されますと国際財団活動資金(WF) から半額の組み合わせがあり、その合計にゲイツ財団から 2 倍の上乗せがあります。

例：DDF2+WF1+ゲイツ6=9

※WF からの組み合わせ上限額は 500 万ドル、ゲイツ財団からの上乗せ対象は上限 5,000 万ドルです。

[DDF オンライン寄贈フォーム](#)

<感謝状>

ポリオプラスへ 1,500 ドル以上のご寄付をくださったクラブ、DDF の 20% 以上をポリオプラス基金へ寄贈してくださった地区は、次年度に感謝状が贈られます。

ロゴの使用方法やテンプレート

- [ブランドリソースセンター](#)
- [ロゴのテンプレート、クイックガイド](#)
- [「END POLIO NOW」のロゴ](#)
- [ラーニングセンターの「公共イメージ」のコース内の、ロータリーのロゴやブランドのコースもご活用ください。](#)

ポリオプラス



【野生型ポリオウイルスによる症例数】

掲載サイト: [GPEI ウェブサイト\(英語\)](#)

		2022年 1月1日～ 9月20日	2021	2020	2019
常在国	パキスタン	19	1	84	147
	アフガニスタン	2	4	56	29
非常 在国	モザンビーク	6	0	0	0
	マラウイ	0	1	0	0
世界合計		27	6	140	176

【世界ポリオデー ツールキット】

世界ポリオデー関連の活動の際には、ぜひ[ツールキット](#)をご活用ください！
(クリック後、zip ファイルのダウンロードが始まります。)

ツールキットの内容

チラシのPDF版データや、活動のアイデア、イベントの招待状に使えるテンプレート、ソーシャルメディアへ掲載するメッセージのサンプルなど。
また、画像も一緒に入っています。

参考

[EPN ウェブサイト「リソースセンター」](#)
[「ロータリーとポリオ」\(ワード\)](#)

<補助金>

- [ロータリーの補助金](#)
- [授与と受諾の条件](#)
 - [地区補助金用](#)
 - [グローバル補助金用](#)
- [補助金による旅行](#)
- [ロータリーの旅行禁止国リスト](#)
- [グローバル補助金ガイド](#)
- [地域社会調査の結果フォーム](#)
- [地域調査の方法](#)
- [協力団体の覚書\(MOU\)](#)
- [ロータリーアクターによるロータリー補助金の利用 よくある質問](#)

<重点分野>

- [重点分野の基本方針](#)
- [重点分野別ガイド](#)
 - [基本的教育と識字率向上](#)
 - [疾病予防と治療](#)
 - [地域社会の経済発展](#)
 - [母子の健康](#)
 - [平和構築と紛争予防](#)
 - [水と衛生](#)
 - [環境](#)
- [重点分野ガイド](#)
- [モニタリングと評価の計画について](#)

<プロジェクトのヒント>

- [ロータリーショーケース](#)
- [プロジェクトフェア](#)
- [補助金担当職員一覧](#)
- [重点分野の担当職員](#)
- [補助金レポートの利用方法](#)

<オンライン申請>

- [補助金センター](#)
- [補助金センターのご利用ガイド](#)
- [補助金センターのご利用ガイドグローバル補助金奨学生](#)
- [グローバル補助金申請のテンプレート](#)
- [グローバル補助金報告書のテンプレート](#)
- [グローバル補助金 計算表](#)

<奨学金>

- [奨学金の提供](#)
- [ロータリー平和フェロシッ](#)
- [ロータリーの学友](#)
- [グローバル補助金奨学生のテンプレート](#)

<補助金の参加資格認定>

- [参加資格の認定](#)
- [地区の覚書\(MOU\)](#)
- [クラブの覚書\(MOU\)](#)
- [クラブの覚書\(MOU\)の実施に関する指針](#)
- [クラブの覚書\(MOU\)ワークシート](#)
- [クラブの参加資格認定 よくある質問](#)

過去の関連記事

- [米国と欧州での最近のポリオ検出に関するロータリーの声明](#)
- [女性とポリオ ポリオ根絶活動でジェンダーを考慮することの意義](#)
- [基本的ニーズへの対応がポリオ予防接種への信頼を築くカギ](#)
- [2021年世界ポリオデー特別プログラム](#)
- [コロナ禍と政治的混乱の中でのポリオ根絶活動](#)

(以前日本事務局からご提供を行ってございました印刷版のポスター、チラシ、貸出品のロールアップバナーの取り扱いは終了いたしました。)

世界ポリオデーの推進用ツールキット

クラブ・地区のリーダーへの周知にご協力ください

下のリンクから
ツールキットを開くことができます

(素材の例)

ポリオが根絶されれば、人類史上、根絶される2番目の疾病となることをご存知ですか。

世界ポリオデー
10月24日

1988年以来、ロータリーとパートナー団体の取り組みにより、ポリオの症例は99.9パーセント減少しました。

世界ポリオデー
10月24日

ポリオの情報を紹介するグラフィック。フェイスブックやツイッターにそのまま投稿可能。

写真付きのバナー。ウェブサイトやソーシャルメディアへの掲載や、関連情報を添えて使用するのに便利。





国際ロータリーの宣言

ロータリーは、世界中の地域社会に持続可能な変化を生むために手を取り合って行動する市民、リーダー、ボランティアから成るネットワークである。

会員は、ロータリーの標語である「超我の奉仕」の下に、人道的な奉仕活動の実践、高い道徳基準の奨励、世界中で親善や平和を築くための活動をしている。

宣言文。プレスリリースを作成したり、その他の方法でメッセージを発信する際に参照できます。

[ツールキットはこちら! \(zip ファイル\)](#)

補助金

【父としてのアイデンティティ より子どもたちとつながった親としての人生を送る】

3年前、モンゴルのエルデネットに住む若い父親であるDavaanyam Gongorjavさんは、とても困難な状況に陥っていました。妻が癌で亡くなったのです。仕事がない上に、4歳と7歳の娘の世話もままならない状態でした。それに、より根本的なこととして、父親としての自信を失う危機に直面していました。

この問題は、彼一人の問題ではありません。エルデネットには何十人ものシングルファーザーがいて、同じような困難に直面していました。パートナーなしに父親が一人で子どもを育てるといった考え方が定着していない文化において、シングルファーザーに対する地域社会の支援は事実上存在しませんでした。

父親たちの悲痛な声は、ウランバートル国際大学の教授を通じて、オーストラリアのロータリアンであるジェニファー・スコットさん(セントラル・ブルーマウンテンズ・ロータリークラブ会員)に届きました。間もなく、スコットさんと仲間のグループは地域社会のニーズを評価し、[ロータリー財団](#)のグローバル補助金を受け、シングルファーザー向けのワークショップをモンゴルで開催しました。記事の続きは[こちら](#)

【グローバル補助金奨学生の事前審査】

来年2023年秋に留学を開始するグローバル補助金奨学生の募集や審査を始めている地区も多いと思います。正式に申請書を提出する前に奨学生の適格性について事前審査を受けることができます。最終的な審査結果を保証するものではありませんが、これを受けることにより以下のメリットがあります。

- 地区の選考結果と最終結果のずれが最小限となる。(早めに結果(予測)を候補者に伝えられる)
- 留学先の地区に受入クラブ探しを依頼しやすい。(依頼後に失格となるリスクを最小限にできる)
- 申請書の提出から承認までの時間を短縮することができる。(受入地区の状況や入学許可書の入手などにより、申請書の提出に予想以上に時間がかかってしまうこともあるため、出発の早い方や、旅費やビザの経費等に奨学金を利用したい場合などに有効。)

事前審査用の送付書類

- [グローバル補助金奨学生審査用テンプレート英語版](#)。履修コースのリストも必須。(日本語版 地区内選考用)
- 入学許可書や研究機関からの招請状(すでに持っている場合)
- CV(経歴書)
- 奨学生候補者の名前は和英併記

戸籍抄本、パスポートの写しなど、必要以上の個人情報を含む書類などはつけないようにお願いします。個人の写真や語学テストのスコアも不要です。

ご依頼は、担当の [Regional Grants Officer](#) (RGO)にお送りください。

第1地域: セシリア・ウォルター (Cecelia Walter Cecelia.Walter@rotary.org)

第2, 3地域: スティーブン・サンドストローム (Steven Sundstrom Steven.Sundstrom@rotary.org)

【奨学生の受入(ホスト)クラブ/地区の依頼】

グローバル補助金の申請には、実施国(受入側、留学先)と、援助国(派遣側)の二つの提唱者が必要です。実施国側の提唱者を探すには、援助国側の地区(派遣側地区)から、留学先の地区に依頼します。各地区の財団委員長や奨学金委員長には、全世界の委員長のメールアドレスを含むリストが送られています。留学先の地区は、[My ROTARY](#)の[公式名簿](#)や[検索機能](#)でご確認ください。



過去6か月間で、150件以上のグローバル補助金奨学金が世界で承認されています。そのうち10名以上奨学生を派遣しているのは米国と日本のみで、35%以上が米国、25%以上が日本からの派遣です。逆に、受入は50%が英国の地区 (England, Ireland, N. Ireland, Scotland, Wales)、15%以上が米国です。

受入クラブ/地区は、受入中の奨学生のロータリー活動への参加や報告書の手続きに加えて、新しい奨学生の申請手続きをすることになり、多くの時間を割くことになります。留学は単年度では終わらないことも多いので、受入クラブ/地区の責任や負担はとても大きいのです。

状況によってはすぐに受入クラブが決まらないこともありますし、クラブの例会や理事会のタイミングによっては返事が遅れることもあります。相手地区やクラブの状況を配慮していただくようお願いいたします。お困りの際は、事前審査と同じRGOにご相談ください。

【奨学生の受入(ホスト)クラブ/地区の役割】

受入クラブ/地区(実施国側の提唱者)が決まりましたら役割について確認をします。特に以下の点にご留意ください。

- 補助金を受領する銀行口座を、受入クラブ/地区側と日本側のどちらが開設するかを決める
銀行口座の提出は承認の条件となるため申請書の提出と同時に入力が必要とされます。奨学生の希望も確認して、事前に決めておきます。日本が補助金を受領する場合は、申請書提出までに口座を用意します。
- 奨学生の受入カウンセラー(連絡窓口)との連絡
渡航前に奨学生が現地で誰に連絡を取ればいいのか確認しておきます。少なくとも一度は出発前に連絡を取り、到着予定や当日の宿泊先、その他配慮の必要な事項があれば伝えておくようお願いいたします。また、万一に備えて複数の連絡先情報を得ておくことをお勧めします。

受入側の会員が、宿泊や出迎え、現地での生活の支援をしてくれることもありますが、義務ではありません。

留学先へ到着して初めて、未就学児と臨月の妻の家族の同伴や乳幼児の同伴、移動に車椅子が必要なことなどがわかるというケースが報告されています。自分だけで対処できると本人が思っても、例えば、迎いの車に乗れない、住居の条件が合わない、用意した食事の数が足りない、立てていた予定を変更しなければならないなど影響がでてしまうこともあります。また、寮にまだ入れないので今日は公園か駅で寝るといったようなことは、本人が良くても同意書で禁じられている本人を危険にさらす行動となるので避けてください。

奨学金を家族の経費に充てることはできないため、同伴する家族の有無などは申請書ではわかりません。また、障害やアレルギー、持病などは、取り扱いに注意が必要な個人の情報となるため、本人自身が伝える必要があります。面接等で、現地で特別な配慮が必要になる可能性を感じた場合は、奨学生本人からそのことをカウンセラーの方に伝えるようにお勧めください。

【奨学生の派遣側クラブ/地区の役割】

グローバル補助金奨学金プロジェクトは、資金提供だけでなく、奨学生とのつながりを重視しています。

派遣側クラブ/地区(援助国側の提唱者)は、

- 受入クラブや地区と連絡を取り、申請手続きをします。
- 奨学生からの評価と資金の報告を含む、オンライン報告書を期限内に提出します。(補助金資金を全て支出していれば、留学終了前でも最終報告を提出できます)
- 留学前、留学中、帰国後、将来にわたって奨学生の相談にのり学友活動を支えます。

申請書や手続きについて問い合わせの際は、奨学生から直接ロータリー財団や担当職員へ問い合わせるのではなく、必ず地区やクラブを通してお問い合わせください。*

地区やクラブの方に相談や報告をするという習慣がなくなり、会員に聞かなくてもよいという印象を与えてしまうと、留学中や終了後のクラブへの報告、例会や地区の行事への参加、将来にわたる学友として派遣側の会員とのかかわりを持ちたいという気持ちがなくなってしまうかもしれません。また、情報や状況の共有もできなくなってしまうかもしれません。

グローバル補助金奨学生の中には、国際社会で活動され、留学後もなかなか日本には戻らない方も多くいます。そのため、奨学生と派遣側のクラブ/地区が特にコミュニケーションが多くなるのは留学前の時期であることが多く、その時点でより厚い信頼関係を築くことができないと、連絡は途絶えてしまい、留学終了後も関係を保つことは難しくなります。

報告書の提出は最後の機会ですから、単なる手続きとして報告書を提出するのではなく、「自分たちの寄付を使ってどのような留学体験をしたのか?」「どんな成果があったのか?」など、興味をもって報告を受けてください。

*やむを得ず、奨学生から直接職員へ連絡する場合は、補助金番号をメールのタイトルに含めて、クラブ/地区をCCに必ず含めてください。

参考

- [グローバル補助金 奨学金の補足資料\(2022年5月更新\)](#)
- [ラーニングユース](#)のオリエンテーション(オリエンテーションは、奨学生は出発前の受講完了が必須です。年末に改定が予定されています。)

大口寄付(一括10,000ドル以上のご寄付)

大きなご支援を
誠にありがとうございました。
地区・クラブでも感謝の機会をお創りください。

2022年8月25日～9月23日 確認分(敬称略、寄付日順)

地区	クラブ	寄付者	地区	クラブ	寄付者
2570	本庄	高柳 育行	2710	尾道	吉原 久司
2800	寒河江	小松 栄一	2780	厚木 県央	石井 卓
2720	熊本 城東	永田 壮一	計5名		

※オンライン寄付や諸手続きを要する大きなご寄付の場合、掲載に時間がかかる場合がございます。

今後の予定

7月 ～10月1日	ポリオのない世界を目指す奉仕賞
10月24日	世界ポリオデー
11月	第51回ロータリー 研究会(神戸)
19日	財団地域セミナー
20日	メジャードナー午餐 会、GETS・GNTS 他
21～22日	ロータリー研究会
11月 ～12月	ロータリー財団功労 表彰状
1月～2月	ロータリー財団特別 功労賞

国際ロータリー日本事務局財団室
〒108-0073
東京都港区三田 1-4-28
三田国際ビル 24 階
Email: RIJPNTRF@rotary.org
Tel: 03-5439-5805
Fax: 03-5439-0405

財団室 NEWS への個人データの掲載は、本人の許可を得ています。ロータリーの事業目的以外でお名前やクラブ名等個人を特定できる情報を含むデータの複製、転用、転載等はありません。詳しくは[個人データの使用に関するロータリーの方針](#)をご参照ください。

ロータリー財団 2022-23年度 8月末暫定 地区別寄付報告 (単位:米ドル)

地区	会員数	一人当り 年次基金	年次基金	ポリオプラス	恒久基金	その他の基金	合計寄付額	前年度 同月比
2500	2,173	4.60	9,991.50	2,914.15	148.72		13,054.37	39%
2510	2,336	19.62	45,835.39	5,319.89	220.59		51,375.87	107%
2520	2,044	19.47	39,797.20	4,309.11	37.59		44,143.90	83%
2530	2,165	16.89	36,557.60	10,017.57	2,111.95		48,687.12	187%
2540	1,100	6.67	7,334.63				7,334.63	46%
2550	1,635	10.91	17,832.98	2,622.16	2,000.00		22,455.14	51%
2560	1,963	19.12	37,528.62	8,771.34			46,299.96	71%
2570	1,556	32.42	50,449.68	18,313.46	19,951.93		88,715.07	92%
2580	2,833	44.13	125,020.47	38,890.65	13,842.71		177,753.83	95%
2590	1,854	45.22	83,830.41	15,585.20	12,045.12		111,460.73	177%
2600	1,838	23.19	42,621.46	14,875.90	1,710.47		59,207.83	90%
2610	2,466	20.03	49,382.61	5,599.91			54,982.52	73%
2620	2,756	22.63	62,374.95	15,840.38	7,100.00		85,315.33	179%
2630	2,990	17.78	53,170.01	5,232.78	5,475.19	5,250.00	69,127.98	207%
2640	1,576	18.99	29,926.95	4,615.23	1,073.53		35,615.71	113%
2650	4,242	31.81	134,947.67	24,486.67	5,000.00		164,434.34	107%
2660	3,404	41.05	139,738.61	70,527.09	24,987.02	5,428.50	240,681.22	111%
2670	2,861	25.75	73,661.86	14,531.25			88,193.11	68%
2680	2,522	32.13	81,032.09	8,441.71	4,787.06	3,509.10	97,769.96	81%
2690	2,879	27.97	80,526.10	14,560.06	16,800.00		111,886.16	118%
2700	3,030	22.57	68,397.12	4,977.96		1,050.00	74,425.08	83%
2710	3,066	44.04	135,021.92	18,799.59	9,200.00		163,021.51	108%
2720	2,310	13.21	30,526.25	2,167.27	1,000.00		33,693.52	115%
2730	2,289	10.61	24,277.90	958.99			25,236.89	92%
2740	2,061	9.82	20,228.72	394.27	1,100.00		21,722.99	78%
2750	4,480	34.31	153,697.27	29,228.16	5,074.36	3,675.00	191,674.79	123%
2760	4,545	38.23	173,743.86	33,805.86	7,782.03	2,302.65	217,634.40	98%
2770	2,309	75.95	175,359.64	36,516.24	13,000.00	2,100.02	226,975.90	154%
2780	2,228	14.19	31,615.87	2,021.41	3,000.00		36,637.28	114%
2790	2,623	17.35	45,515.57	9,386.12	30,451.13		85,352.82	121%
2800	1,492	23.99	35,786.30	3,266.18	10,070.00		49,122.48	124%
2820	1,813	22.97	41,638.10	4,706.75	5,800.00		52,144.85	176%
2830	1,095	12.99	14,225.90	1,986.27			16,212.17	59%
2840	2,021	21.32	43,088.33	10,073.06	1,103.00		54,264.39	90%
日本	82,555	26.58	2,194,683.54	443,742.64	204,872.40	23,315.27	2,866,613.85	106%
世界	1,166,331	15.29	17,832,358.55	2,756,268.73	4,552,652.24	2,265,227.55	27,406,507.07	
日本の割合	7.08%	-	12.31%	16.10%	4.50%	1.03%	10.46%	